

〔下學集上〕氣形土豹ウクロモチ

〔日本釋名中〕鼠田のうねくろをもちあぐる意

〔東雅十畜獸〕鼠子ズミ略○中 鼯鼠をウゴロモチといひ、○中並に義不詳、ウゴロモチといふは、其地

起しつるに依りて、云ひしなるべし、さればウゴロ  
とは蠢動之謂にて、モチとは極起するをいふ也。

〔物類稱呼動物〕鼯鼠うごろもち 京にてうごろもち、東武にてむぐらもち、西國にてもぐら、中國

にてむぐらもち、四國にてをごらもち、遠江にていぐらもち、大和及伊賀伊勢にてをごらもち、越

後にて土龍トリリといふ、

〔本朝食鑑十一〕土撥鼠訓牟久羅毛知古

釋名源順曰鼯鼠一名鼯鼠通俗文曰鼯鼠一名鼯音冥必大平野

集解、土撥鼠處處常有、狀似鼠而扁肥、毛色亦似鼠而微黃、頭面窄眼纖長而微垂、四肢五指而短、屈嘴

尖尾短、每棲土中、向昧且而撥土、視日則死、故源順曰恒在土中行、若見三光即死、若欲捕之、昧且窺撥

土處而急穿之、則必獲之、少緩滯者不能捕之、惟庭塔屋邊園圃草木根下撥土作害而不捕之、則不息

肉、氣味未詳、主治、諸瘡瘻漏或通俗取手足晒乾、收之言搔痘疹疥癬之癢則立愈、

〔重修本草綱目啓蒙三十五〕鼯鼠ウゴロモチ和名 烏ゴロ 備後 ムグラ 水戸 ムグラモチ 薩

備後、ムクロ 雲州 ムクロモチ 越中 ムグロモチ 備前 ウグラ 三州、ウグ

ラモチ 豊後 ウグロモチ 新校 モグラ 大和本草、モクロ 雲州 ラゴロ 阿州、和州、ヲグラ

モチ 濃州 ヲゴラモチ 四國 ヲンゴロモチ 讚州 イグラモチ 遠州 ドリウ 江州、越後、和方

ス、唐山ニテハ蚯蚓 一名犁鼠揚子 豆地兒郷藥

此鼠常ニ土内ニ棲、早且ニ地下三寸許ヲ潛行シテ蚯蚓ヲ索食フ、ソノ跡土高ク起リ空虛トナリ、

圃中ノ草根ヲ浮動シ、大ニ害ヲナス、早年ニハ殊ニ此患アリ、輕歩シテ鋤ヲ以テ行、後ニ立ル時ハ